

学年と分掌がよく相談するようになってきて、とくに11期で「立ち番はやめよう」とか、だんだん学年中心になってきたと思います。

白浜：ベテランの先生方が増えて、平均年齢があがったこともおおいでしょう。

校長：今は、43歳です。

裸の大将：ぼくが来たときは、20代が平均でしたから。

川西：新設校の時は、新卒の先生がほとんど。40以上は、数えるほどやった。

杉山：おれは42やったんや。

米田：あんたと、おれと、末川さんと、もとねのおっちゃん(元根先生)と... 5人だけやった。

生指部も、あるときワシは40代、次はヤマちゃん(山崎先生)で32やった、後はぜんぶもう20代やった。みんなもう若かった。

杉山：ぴちぴちボーイ、ぴちぴちギャルの時代やったな。

前防：教務、生指、総務の主任と、担任12人、合計15人だけが



経験者やった。

米田：後は全部もう新採やった。

桐山：今までの話から、

「20年続いてるねんな」

ということが、生指のことも進路のことも感じますね。

つぎつぎと新しい先生が(といってもおじさんおばさんの年齢の方ばかり言っているくらいですが)来られますが、「うちの学校ではこうやってます」

という具合に、たとえば企業訪問のことも分担してもらってやっていますね。

テレビが、新聞が

中瀬：いつの間にか、

「8期9期のときは...」

という発言がだいぶ少なくなりましたね。

杉山：知ってる人がよそへ転動したから。

中瀬：今は13・14期の話になりますね。

米田：新聞やテレビでたまたかされたからなあ。学校の歴史や指導の流れやら、実状を知らんのに... どんだけ愛情と時間をかけて指導してるか、を取材してくれたら、もっとええ番組ができたやろうに。

白浜：...一面だけをとらえて、自分たちの筋書きにあてはめてとっていく。とんでもないですよ。

中瀬：新聞の評価では、とんでもないことをやっているようになってしまう。

※ それに比べて、

17期3年の時のNHKの取材は良心的だった。報道の限界は感じたけれども、

「先生方、氷河期の就職指導はたいへんなんですね。」

という、教員と同じ視点で見ようという誠意が感じられた。

高校生に厳しい就職状況の様子を本校からの取材をもとに放映された。

制服にも歴史が

春名：11期の時に始まったKマークシャツの採用が転機になったと思う。女子のベストとネクタイもなくなって。上着がダブルからシングルになって、そして、15期で男子の制服が変わって

米田：最初の制服の、あのネク

タイがぶさいくでな。

関女の制服と、上着のエリがちょっと違うだけでそっくり。なんぎしたわ。

降りる駅は同じ、行き先が右と左が違うだけ。制服は遠目にはほんまにそっくり。

なんかで注意されるようなことがあったら、うちの生徒は「関女や」

いうてにげるし、関女の生徒は「柏原東や」

というてごまかすし。

とうとう3年目ぐらいに

「ネクタイ変えてくれ、費用は持つから」と、

関女の方から正式に申し入れがあったけど、...

今日は下校の様子を見ながら来たが、わしがこのあいだまでいた高校と比べてもずうーっとましや。

ひどいのはもう下校してしもたんかもわからんけど(笑い)。

白浜：今は服装より、茶髪やピアスで困ってますが。

米田：よそよりよっぽど、まじやで。昔と、逆転してますわ。

米田：ま、今はどこの学校も安定してますな。

※ ピアスや毛染めは、

「基本的には、『本人さんの自由や』と思いますが、うちの会社では採用しません。」と、

100社中99社の人事担当の方はおっしゃいます。

大学や短大の先生方も、「不利になりますよ」とおっしゃる。

Jリーグの影響で増えたのでしょうか、ほんとに困ってます。

パワーが、 生命力が、

川西：なんでこんなに安定したの？

辻：反抗するパワーがなくなっただけのような気がします。

川西：学校やめてから村のことばかりやってます（奈良県河合町の由緒あるお寺の住職をされています）が、男子は生気のない、ものもいわない、頭も下げない、バイタリティーのない.. . 女子は、威勢のいいのがいますが...

中瀬：学校行事もクラスも、女が中心。

「男はアカン。おとこはあかん」とばかりいうてますね。12期生ぐらいからやと思います。

杉山：社会現象やな。ええ意味でもわるい意味でも、女がパワー持っとんねん。

春名：女子がリードして、男子がついていく。

体育祭の総合練習でも、女子の練習を見てから男子も、

「おれらしっかりやんなアカンで」という気分になっていく。

女子が男子に、「ちゃんとやりいや!」、あちこちできこえてる。

今年の体育祭は女子の団長が出てても不思議のないようなようです。

前防：自分が行動するより、人が言うてくれるのを待ってる。指示待ちなんです。指示待ち人間は男子に多い。

中瀬：授業でも、真剣に学ぼうというより、そういうふうにいわれてるから大人しいしてるだけという気もする。体育祭とかでは、燃焼したい!という熱いものも感じますが、

川西：見合いの世話をしても、女がふる。男の方は同性のわたしから見ても魅力がない...

田口：就職を頼みにいっても、どの企業でも、「センセ、指示待ち人間はいりまへんねん。自分で考えて判断できる人間がほしいですな。」

今の成績のいい子は指示はようきくけど、激動期の

生徒のような生命力は感じませんね。

中瀬：このごろは、非行より不登校の方が、どこの学校でも大きな問題になっている。

米田：学校が落ち着いたというより、時代が変化しただけかも。

白浜：ひとりひとりの生徒を見ていると、ななめから見ているような9期や13期タイプの生徒はいるけれども、今はそういう連中は支持されないので、ワルをできないでいる。

それでも、いつでも昔のようになってしまうんじゃないかという危険を感じてます。

米田：そうはならんでしょ。生徒の絶対数が半分しかいないので、指導が入りやすい。12クラス規模のころは600人ぐらいいたから、3年間学年主任をしても、覚えきれなんだけど。

仲谷：ほんまに、「もーちょっと生徒の人数が少なかったらなあ、

と思いました。白浜：9期のころは、勉強せんかったから学力は低かったが、知恵はあったと思いますよね。

たとえば、タバコの煙が教室からももうと出ている。走っていくともう誰もいない...

川西：吸ってる現場を見つけて職員室へ連れていこうとしたら、10数人に取り囲まれて、

「放したれや」。女の先生らが身の危険を感じられたことも...

谷口：14期3年の時に来たんで

すが、廊下の向こうが煙っていて、つかまえると、取り囲まれて

「認めんなよ」という激励や、「吸うてないというとるやんけ、放したれや」。

わるい意味でのリーダーがいたと思います。

田口：それでも14期のワルは浮いてたと思いますが、7、8、9期のワルは浮いてるどころか、主流だった気がします。

辻：ワルがガン細胞みたいにひろがって、

掃除さぼり倒して

白浜：それでも9期もいいところはありましたよ。1年間掃除をさぼり倒した連中が、卒業式の日にはきれいにして帰った。

辻：1日のために3年がある。(一同ひきつった笑い)

白浜：こんなもん学校やないと思いましたがよ、松本事件のときは。

辻：しかしそれでも、むこうの学校の生徒は自分とこのセンセの頭をどさくさに紛れてなぐってたのがあったけど、うちはそんなことはなかった。

杉山：社会に出てから、「先生に迷惑かけたから」というて来てくれるんや。

中瀬：こないだも、「謝りたいから江草先生に会わせてくれ、恥ずかしいてしゃあない」と言いながら来てましたね。

もう立派な社会人になってましたが、

Y男：でも、ほくは会いたくないな。(笑い)

その分、苦勞しとったらええけど、そのまま幸せになっとったら腹立つなあ(フッフッフ)。因果応報にならなアカン。

杉山：おまえ、そんなこと思っても言うなよ。(爆笑)



米田：ゴンタしてたやつの方が、世の中に出たらちゃんとやっとなる。

白浜：迷惑もかけないかわりに、無気力な生徒の方がかえって恐いかも知れない。

米田：学校で悪いことやったヤツの方がわかっとなる。

夫婦以上の

白浜：転勤してきたとき最初に感じたのは、先生方の仲がよかったことですね。

杉山：生徒がしんどかって、苦労を分かちあったから...

中瀬：毎日のように遅うまで残って、

「ああや」「こうや」というて議論して、つき会った時間の長さといい、夫婦以上に仲よくなりますわ。

田口：それで家庭崩壊しはったのもあったんちゃいますか。
だれともなく：労働条件ばかり考えたら、最低の職場やったかも知れんなあ。

辻：4期5期ぐらいまでは、先生のパワーの方が、生徒より上でしたわ。

6期ぐらいから生徒のパワーに負けだしてきたという感じですね。

ここへ来て1年目の、4期3年生の爆竹事件の時は、若い先生より川西先生やら大西先生やら年輩の先生らが先にとびだして...

学校は分譲地と同じ？

川西：90年以上の歴史のある学校が、柏原東よりしんどなってる例もあるけど、学校の興亡の原因はなんやろか？

米田：いろいろありまっけど、校区の中心や交通の便利などこにあったら有利ですわな。
今の生徒はわれわれの時代と違

うて、ちょっとでもしんどいことはきらうから、あの坂を下から見て、

「わー、地獄坂や」とそれだけでいやになっとなる。われわれは、はじめてきたときは、

「わー、環境のええとこやな、どんなすばらしい学校ができるんやろか」と思たけど。

自然環境がいいとかは、若いもんには関係ないのんちゃうか。

大学でも、大阪市内からこの近くのええ環境のそこへ移転してきたのがあるけど、応募者が減ってるらしい。えらい坂で階段が何百段もあるから、

『これがあかん』と駅から校舎までエスカレーターつけたけど...それで学生の質がよくなったかどうかはしらんけども。

田口：うちも20周年記念にエスカレーターつけたらどうでっしゃろ。KENJIRO来てもらうのも、ほかの行事も全部やめて...

仲谷：10年前に高井田の駅ができたのは大きかったですね。

杉山：はじめはもっと東にできる予定やったんやけど、だんだん西へ行ってしもて。芝山のトンネル出たところぐらいにできてたらもっとよかったんやけど。

川西：新設校の評価は、土地の値段と一緒に、駅から何分かで決まるといわれた。

辻：府の端っこにある学校はみんなやっぱしんどいんですか？

米田：(南の端の)M高校は、えらい階段登らんなんし、冬は風が強うてたいへんらしい。

杉山：堺の方も新しい学校ほど山の上へ登って行ってたいへんらしい。

川西：柏原東は、生徒急増期の対策として生まれた新設校で、『中廊下一棟式』。

杉山：もともとは2棟の予定やったんやが、

『裏の山の古墳の影響で崩れてくる危険がある』



ということで一棟式になった。

せやけどこれは名目上の理由で、ほんまは、安つくからや。基礎工事からなにもかも安うつく。

前防：あの年からいっせいに一棟式になった。

杉山：一棟式の欠陥については、保健主事会で何回も文句を言うた。

風がとおらんから、夏は暑うて勉強ができる環境やない。

冬は北側の部屋はぜんぜん日があたらんから冷凍庫や。

廊下は、昼間でも電気つけとかな暗い。生徒の気持ちが悪くなる。箱つくって収容したらええ、というもんやないやろ。

仲谷：やいやい言うて、いつやったかやっ扇風機ついたな。

朝まで閉じこめられた先生

前防：機械警備で、帰るときにロックするのに1時間ぐらいかかることもよくあった。

杉山：おれと山崎センセとが家が近くということで、始めと終わりのロックの世話をしとったんやけど、休まれへんしたいへんやった。

中瀬：今と違って、赤外線センサーで、あらゆる部屋がOKとなっはじめてロックできる仕組みやった。

口々に：

「植木鉢の位置がちょっとずれ

てたら、あかん。」

「扇風機がうごいてたら、これもあかん。」

「本立ての、書類がちょっとはみだしててもだめ。」

「何が原因でロックでけへんのが、なかなかわからんので、1階から4階まで上がったたり降りたり、上がったたり降りたり、130mの廊下を走り回った。」

「遅うまで仕事で残ってても、最後になつたらたいへんなんで、とにかく最後から2番目には帰ろうとあせった。」

「それで人間不信になった人もいる。最後にならんように廊下を走っていく後ろ姿が見える。声ぐらいかけて、一緒にロックして帰らんかい。」

「閉じこめられて、明るる日まで校舎の中にいたセンセもありましたなあ(家庭科のセンセやったやろか?)。」

「夜中の2時ぐらいまで仕事してたら、警備会社の人に『せめて12時までには帰ってください』とおこられたり。」

白浜：今はずいぶん簡単になりましたよ。

ほんまに、 何考えとんねん！

川西：わたしは柏原東へ新設校で来て、次に行ったのが最後の新設校。感じが全く違ってたいへん瀟洒にできてる。

ここで、保健部だけでなく進路も生指も教務も、みんなが文句いうたんが、ここでは実らへんかったけど、最後の新設校で生きてきたんやろ。

守屋：広うてきれいで、ちょっとしたことが、全く違う。

口々に：

「いっぺん出来たものは、造りかえられへんからな。」

「『きょうはもう言わんといてな』、といわれるぐらい文句言いに行った。」

「欠陥建築や」

「安く建てるという理由は、理解は出来るが、それでも納得いかん部分がいっぱいある。」

「たとえばこれ、(窓際へ行き窓枠についてる、戸締まり用のクレセントに背伸びして)これがこーんな高いところについてますねん。ぼくなんか特に背が低い方でもないのに、いちいち脚立かなんかもって来んと、とどかん。心も通てない、人間工学もぜんぜん考えてない、こんなもん誰が設計したんや。」

「もっとおもろいのが、陸上の投擲の金網ボックスや。」

設計図見て、『どこへ向いて投擲すんねん？食堂へ飛び込んでしまうやないか、向きをかえてほしい』と抗議しても、

『設計図できてるからこのまま行きます』という。

あんまりなんで、脳味噌破裂しそうになった。おんなじ府の職員として恥ずかしいわ。あれで何百万円もかかってんねん。いっぺんも使われへんのに。」

「電気のスイッチがどういうわけか、後ろについてる教室がある。前にあったら、終礼が終わったらすぐ消すとか、必要に応じてつけたり消したりすぐ出来るのに、後ろやといちいち後ろの生徒に『おおい、〇〇くん、電気つけてくれ』いうて頼まんあかん。光熱費のむだ遣いにつながるし、地球環境にもやさしくない。」

「野球のバックネットも、排水ができにくいつくりになってる。場所によたら下がすぐ(手で30cmぐらいの深さを示しながら)岩盤やから、排水を考えて、『こうしてくれ』と言うても、『おたくの学校だけ特別扱いにはできまへん』。水たまりつくってるようなものや。基礎工事で排水をストップしてるんや。」

「同じ時期の新設校が、奈良県

では6クラス規模。大阪は倍の12クラス。東京は8クラスでも『教育の破壊だ』と大騒ぎしてたのに。」

「工事が全部終わってから生徒募集すべきや。奈良県は全部完成してから生徒が来る。」

「兵庫県もそうですよ」

「校舎は3分の1しかないわ、体育館はないわ、プールはないわ。」

「奈良県とは急増の度合いが違ってたのはわかるけど、もっと配慮がほしかった」

「15期から8クラスになってから、ぜんぜん違う、ようになった」

「1クラスの人数が減ったのも、ぜんぜん違う」

話は尽きませんが、

守屋：話は尽きませんが、いちばん新しい1年生の学年主任の谷口先生から、未来に向けての展望を。

谷口：14期3年の時に赴任してきて、連日事件。喫煙やら暴言やら連日なにかがある。

ところがたった4～5年の間にがらっと変わってしまっ落ちて着いた雰囲気、隔世の感があります。

「10期生ぐらいから女性上位の傾向がでてきて、男子に元気がなくなってきた」

という話がありましたが、20期生も同じですね。女子の方が活発で、エスケープをしてみたり結構女子が悪いことをする。

20期は、入学以来の停学が、昔とは比べものにならないくらい減って、今日で4件。毎日の記録を見ても、

『今日は〇〇が休んだ』とか、『今日は来た』とかいうメモがほとんど。いわゆる不登校がしんどい問題としてでてきてます。

飛躍期へ

谷口：「どれぐらいの生徒が柏原東を選んで来ているのか」という話がありましたが、20期生のアンケートでは、『自分で選んで』が、73.3% 『中学の先生に勧められて』が、約40%

『親に勧められて』が、約11%。もっとたくさんの保護者の方が「柏原東やったらいい」と、安心してすすめていただけるような学校にしていきたいですね。

中学をまわっても、『柏原東は伸ばしてくれる』というように、評価がよい方に変わってきています。

さっき『指示待ち人間』の話がでしたが、気力に欠けるといって、不安感が強くて、緊張が強られるような場面を極力避けたいという行動パターンがよく見られます。

柏原東を将来背負っていくような生徒を育てようと、春の「リーダー合宿・スプリングキャンプ」を行ったんですが、1年生の参加予定者は63名。

ところが実際に参加したのは51名。不参加者の大部分は、直前まで「参加しようか、やめとこうか」と悩んで、結局不安で来れなかった。

参加した生徒も、「不安でしょうがなかったが、来てよかった」。

先日のPTA総会では、「スプリングキャンプを全員参加にしてほしかった、そしたらうちの子も参加したのに」、中瀬先生が主任だった17期の2年で始めた勉強合宿についても、「全員参加にはできないか」という意見もありました。

この学年は、国立1名、4年制私学9名、短大は希望者全員合格という結果がでて、中学の先生方や近隣の親御さんに

は広く知られているようです。

1年生の進路希望調査では、37.7%が「進学したい」。未定が40%近くいましたので、就職希望より進学希望の方が多くなっているの、進学指導にももっと力を入れなくては、と思っています。

安定期だということにあぐらをかいてしまわないで、次の座談会には「17期からは、飛躍期!」といえるようにしたいですね。

<編集記>

創設期の諸先生方はじめ、いろんな節目に当たる時期の先生方にもれなくご出席いただいて、「ほんとの20周年をふりかえる楽しみにしたい」という意気込みで企画は始まりました。

ところが、「そんなことしてたら何十人にもなるで」

「いや、百人はこえるやろ、収拾つかんようになるで」

「とくに、はじめの頃のセンセらは個性が強いからなあ、あとから来たセンセらは圧倒されてしゃべれんようになるのんちゃうか」

「20周年にきてもらえなんだ先生は、『次の30周年には是非に』と今から予約しといたら、将来の布石にもなるし、まあええやんか。」

『もう10年健康元気でがんばっててくださいよ』という励ま

しにもなるし」

ま、いろんな議論がありました。

満点いただける企画をする能力も、十二分に考える時間のゆとりもないまま、一説によると百人を超えるという「欠かせない先生方」のうち、担当者のええかげんな思いこみで適当にお願いして、その十分の一ぐらいの規模で、座談会を催させていただきました。

声をおかけしなかった先生方、ごめんなさい。むりやりお呼びした先生、ごめんなさい。今回の20周年座談会は、次回30周年のための試作品のようなものでも思っていたいて、行き届かないところ、やりすぎなところ、なんやらかのわからんひとりよがりの編集などなど、平にご容赦下されたく思います。

(なお、発言者が特定できないほうがいいと思われるような発言は、架空の名前にしました。それでもわかる人にはわかると思います。)



PTA

PTA活動について

檀原東高等学校のPTAは、学校創立時期と同じく昭和52年4月8日の第1回PTA総会で設立が認められ、今年度で20周年を迎えます。

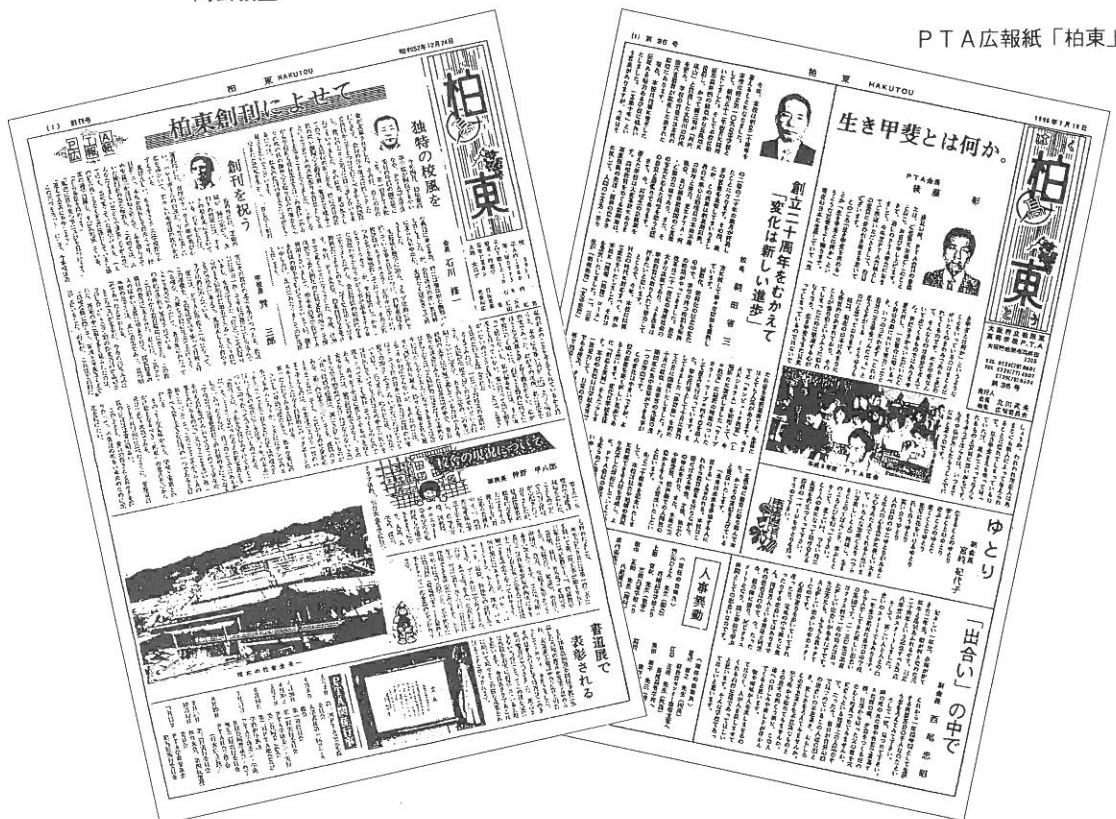
PTA創立準備委員会の皆様方のご苦勞により設立されたPTAは、子供たちの健全な成長と檀原東高等学校の教育の充実と発展及び会員相互の親睦と文化の向上を図ることを目的とし、数多くの取り組みが行われてきました。中でも、安全な通学路の確保やJR高井田駅の開設、近鉄国分駅西改札口の設置等を関係機関に積極的に陳情を行ってきました。また、PTA広報紙「柏東」も設立当初から発刊され、現在で、36号になります。

平成8年度のPTA活動は右記とおりです。



陶芸教室

- 5月18日(土) PTA総会、実行委員会
学年別懇談会
 - 6月 8日(土) 体育祭 実行委員会
 - 6月29日(土) 学級委員会、実行委員会
 - 7月19日(金) 「柏東」36号発行
 - 8月27日(火) 陶芸教室
 - 28日(水) 陶芸教室
 - 9月 3日(火) 登校指導
 - 4日(水) 下校指導、学校食堂試食会
 - 21日(土) 実行委員会
 - 10月 9日(水) パパ・ママプラザ、文化祭出展
 - 10月20日(日) 社会見学(神戸方面)
 - 11月 2日(土) 実行委員会 スポーツ大会
 - 16日(土) 20周年記念式典
 - 下旬 通学路清掃(青山台自治会と)
 - 1月18日(土) 学級委員会、実行委員会
 - 2月25日(火) 「柏東」37号発行
 - 4月19日(土) 実行委員会
- ※他に講演会、ワープロ教室等。



PTA広報紙「柏東」



平成7年度PTA総会



平成8年度パパ・ママプラザ



社会見学



ワープロ教室



昭和53年度実行委員

平成8年度実行委員



職員異動表

	氏名	S52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	H1	2	3	4	5	6	7	8	現任校
校 長	巽 三郎																					逝去
	石 香 享																					専光寺住職
	玉 井 庄 平																					退職
	田 代 徹 也																					大阪城南女子短大
	杉 本 博																					退職
教 頭	朝 田 省 三																					
	細 木 孝 雄																					大阪経済法科大
	末 川 衛																					退職
	佐 野 宏																					府教委就学相談所
	片 山 榎 喜																					大和川高校校長
国 語	塗 矢 卓																					
	芝 口 達 也																					清水谷高校校長
	松 村 豊																					布施北高校
	保田(井畑)真理子																					
	吉井(上田)真知子																					奈良県立高校
	大 西 康 雄																					退職
	柳 瀬 安 代																					夕陽丘高校
	佐藤(楠橋)てるよ																					食品産業高校
	岡 田 三津子																					天王寺高校(定)
	小 林 雅 美																					
	牧 田 一 代																					
	吉 田 和 男																					山本高校
	藤井(米田)優子																					市岡高校
	伊 藤 竜 雄																					西寝屋川高校
	笹倉(木村)淳子																					狭山高校
	伊 藤 清 子																					
	山 本 治 子																					
	首 藤 順 子																					
	鈴 木 智 子																					
	新 見 昌 彦																					
	三 由 和 世																					
	辻 光 男																					
	村 山 佳 幼																					
	太田(宝木)たみね																					
	内沖(南條)恵津子																					
	石 田 充 代																					
	上原(藤井)紀子																					
	中谷(大村)晃子																					
	室 田 ゆ ず																					
	岸 野 貞 雄																					
	寺 田 美 紀 代																					
	江 草 正 雄																					
	柴 田 潤 子																					
	梶 原 克 志																					
	平 口 千 秋																					
西 山 勢 津 子																						
中 村 裕 巳 子																						
堀 内 裕 巳 子																						
栗 生 浩 二 子																						
大 野 純 子																						
山 川 貢 作																						
谷 口 政 巳																						
高 岡 さ や 子																						
渡 辺 廣 之																						
林 久 代																						
松 本 隆 子																						
																						府教委センター